

中田かわら版 8月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

中田小学校支援グループ

「レッドキャップス」



市内一の広い校庭をもつ中田小学校では、近隣の地域が独自の形で学校支援活動を行っています。シンボルの赤い帽子をかぶった「レッドキャップス」のみなさんです。今回は、代表の上原敏博氏（池谷自治会長）にお話を伺いました。

5年前、同校では生徒数の減少と共に教職員の数も減り、広大な校庭を管理することがなかなか難しくなり、荒れた花壇や雑草が生い茂る場

所も目立ってきました。この事を背景に「学校地内環境美化兼防犯対策」として「レッドキャップス」という子どもたちに親しまれる名称の会が誕生しました。会員は、学校長より委嘱状を受け校内を自由に出入りする事から、厳しい人選を経た、定年後の家庭菜園を趣味とする人たちです。現在は上原氏を代表とし、現場統括リーダーを工藤敏暢氏に、以下 20 名で運営されています。

学校菜園の年間活動内容を各学年の先生方と相談し、子どもたちの教材となるような多種類の野菜を、施肥、植え付け、観察、収穫まで管理し、食育の一環として大きく教育に貢献しています。「6月には水田に田植えをし、10月に稲刈り。収穫した米を使って餅つきを楽しみました。また、収穫した野菜で味噌汁パーティーを開き、子どもたちとレッドキャップス会員との交流も行いました。」また、創立 50 周年事業としてビオトープ（とんぼ池）を創り、小生物を生態観察する貴重な場所として管理されています。



先生方からの信頼も厚く、子どもたちからは感謝の言葉が多数寄せられています。今年の 2 月 20 日には全校生徒と先生たちによって「ありがとう会」が開催され、「イキイキキッズ」「学援隊」とならび招待されました。

今日も花壇には、四季折々の花が咲き、同校を訪れる人たちや子どもたちの目を楽しませています。レッドキャップスの活動は子どもたちに楽しい思い出を残すことでしょう。

（編集委員 奥津榮一）

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

9月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田（いくた）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【平成 23 年度敬老会】

日程 9月17日(月)
式典 12:30~13:00
演芸 13:00~14:30
場所 中田小学校体育館
対象 満75歳以上の方
内容 中田中学校PTAコーラス
舞踊・民謡
中田中学校吹奏楽部の演奏

【中田御霊神社霊大祭】

日程 9月23日(日)
今年は、長後街道までの短縮順路で神輿と山車が回ります。また、鳥居前の道路は、露天商やカラオケなどでにぎわいます。
13:00~神輿渡御と山車曳きの宮出し
15:00~神輿渡御と山車曳きの宮入り
19:00~奉納演芸、

- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約)9月20日(木) 11:45~踊場地域ケアプラザ
- 中田友遊会(高齢者サロン)9月13日(木) 13:30~15:00 中田町会館
- 憩いの会(宮の台サロン)9月6日(木)12:00~14:30 宮の台町内会館
- ひまわり(広町サロン)9月10日(月)13:00~15:00 広町自治会館
- 町ぐるみ健康づくり活動 9月1日(土)中田町会館 15日(土)中田コミュニティ 10:00~11:30
- 中田健康づくり 毎週火曜日 10:00~11:00 白百合公園遊具広場A
- 春日健康づくり教室 9月2日・16日(日) 9:30~11:00 葛野コミュニティハウス
- 中田希望会(中途障がい者の会)9月13日・27日(木) 12:30~15:00 踊場地域ケアプラザ
- 中田子育てサロン 9月14日(金) 10:15~11:45 踊場地域ケアプラザ
- 中田社協子育てサロン 9月27日(木) 10:15~11:45 葛野コミュニティハウス
- にこにこパーク(親子の広場) 毎週月・水・金・土 10:00~16:30 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り9月15日(土) 9:30~11:30 立場地区センター

◆ジェネリック医薬品

病院や薬局の掲示板やカウンターなどでよく見かける言葉だ。辞書で調べてみると「Generic」①ある種類全般に通じる、一般的な②ブランドのない。という意味。これを薬に当てはめると、ジェネリック医薬品は新薬の特許が切れた後に販売される新薬で有効成分、安全性を持つ安価な薬のこと。厚生労働省が決めた基準を満たしており品質試験を経て品質の有効性、安全性が確認されている。したがって、これらの薬は安価なのが特徴だ。

新薬の研究や開発には多大な費用が掛かるのが普通で、しかも発売後も有効性や安全性の確認など継続的に費用が掛かる。ジェネリック医薬品は新薬でも有効性・安全性がすでに確認されているので、製造するにも少ない開発費で作られるため、薬の価格が安くなり患者の負担が少なくなる利点がある。なお、新薬は先発医薬品(先発品)、ジェネリックは後発医薬品(後発品)という呼び方をしている。(編集委員 宮田貞夫)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス!!